



第14回 数教協 春の全国研究集会（オンライン）のご案内

数学教育協議会は、これまで70年にわたり「楽しくわかる算数・数学の授業」の研究・実践を重ねてきました。今年は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染防止の観点から、オンラインで行います。今年度は休校、分散登校、オンライン授業など、学校をめぐる状況は厳しさを増しています。そんな中でどのような取り組みがなされてきたのか、課題はなんだったのか、今後に活かせることは何なのかなど、今、話し合っておきたいことをメインに据えた交流をする機会としたいと思います。ともに算数・数学の授業について大いに語り合しましょう。

数学教育協議会 委員長 伊藤潤一



コロナ禍でも楽しい授業 ～オンライン授業の可能性を探る～



1. 日時 2021年2月14日（日） 13:00～17:00

2. 参加方法 zoomにより実施

2月5日（金）までに、数学教育協議会HPの申し込みフォームを送信してください。

前日までに、全体会のミーティングのURLまたはID・パスワード、資料などをメールでお送りします。

3. 参加費 無料

4. 時程

12:30～13:00 受付

13:00～15:00 全体会 コロナ禍での授業への取り組みの状況報告

「オンラインで楽しい授業」野町 直史（東京）

「コロナ禍で教材を精選する視点」大谷 陽子（奈良）

休校中や分散登校中の授業への取り組み、オンライン授業の取り組みなどの報告

問題点、課題について全体で話し合いたいと思います。

15:15～17:00 校種別分科会

特別支援、小学校、中学校、高校に分かれて、レポートに基づき実践交流を行います。

特別支援教育 「コロナ禍の学校で取り組んだこと」森川 義幸（熊本）

「1年生と学ぶ数と算数」吉越 敦子（長野）

小学校 「一人一台タブレットで学びは本当に豊かになるのか～学校とは？学びとは？～」

山本 忠義（鹿児島）

「6年生悪戦苦闘記 ～大変な時代と難しい学級の中、どう授業を成立させていくか～」

鈴木 秀彰（千葉）

中学校 「公立の中学校にできること・市教委との連携で出来ること」南山 雄一郎（北海道）

「コロナ禍とこれから目指したい数学の授業」木下 智玄（富山）

高校 「『数学的に考える』ことを考える時間・・・1年間の記録・・・」宮本 次郎（岩手）

「防衛省はなぜ計算ミスに気付かなかったのか」中野 明（新潟）

<問い合わせ>

春の全国研究集会実行委員長：石川義人（tel 042-736-6882 E-mail y_ishikawa@wako.ed.jp）

数教協組織局長：曾根由理恵（tel&fax 0422-56-9632 E-mail yurie-sonne@ad.cyberhome.ne.jp）